

競技注意事項（トラック&フィールドの部）

1. 競技規則について

本大会は2015年度(公財)日本陸上競技連盟競技規則、並びに本大会申し合わせ事項に従って実施する。

2. 練習場について

- (1) ヤンマーフィールド長居またはヤンマースタジアム長居バックスタンド側の室内練習場で行うこと。それ以外の練習は他の選手、一般の方の迷惑にならないように十分に配慮すること。また、ヤンマーフィールド長居で練習をする場合は投擲競技の邪魔にならぬよう注意して行うこと。
- (2) 投擲種目の練習は第2次招集後に投擲審判員主任の指示のもとで行うこと。
- (3) ヤンマースタジアム長居での練習はバックスタンド側の室内練習場を除き一切禁止とする。

3. 招集について

- (1) 第1次招集は、ヤンマースタジアム長居メインスタンド側室内練習場内の競技者係にて、選手本人がユニフォームを着用した状態で集まり、胸・腰ゼッケン、スパイクの確認を受けて第1次招集を完了とし、確認後はコール終了時刻まで待機する。
- (2) コール終了後、選手は誘導係の補助員に現地まで誘導してもらう。なお、コール終了時刻に間に合わなかった者は棄権として扱う。
- (3) 5000m・10000m・10000mWに関しては、第1次招集時に腰ナンバーカードと番号を合わせた長距離専用別ナンバーカードを配布する。また長距離専用別ナンバーカードは競技終了後、必ず回収係に渡すこと。
- (4) リレー競技の第1次招集は、出走者4人全員が受けること。
- (5) 同一時間に2種目以上出場する競技者および競技中のため他のエントリー種目の第1次招集を受けられない競技者は、招集完了時刻までに重複出場届を競技者係に提出すること。
- (6) 重複出場届を提出した場合も、必ず本人または代理人が第1次招集を受けなければならない。その際『重複出場届』を持参すること。
- (7) 第1次招集時刻は、競技者係にて下記の通り行う。

種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技/リレー競技	競技開始30分前	競技開始20分前
フィールド競技（下記以外）	競技開始60分前	競技開始50分前
棒高跳	競技開始90分前	競技開始80分前

- (8) 混成競技は、両日共に第1種目のみ上記の第1次招集時刻に従い招集を受けること。第2種目以降の招集は現地にて行う。
- (9) 第2次招集（最終コール）は、各種目スタート地点にて下記の通り行う。

種目	招集開始時刻
トラック競技/リレー競技（下記以外）	競技開始10分前
フィールド競技（下記以外）	競技開始30分前
棒高跳	競技開始60分前

- (10) リレーオーダー用紙は、第1次招集開始時刻の60分前までに競技者係へ提出すること。リレーオーダー用紙を提出しなかった場合、そのチームは棄権とみなす。
- (11) リレー競技の編成方法は、競技規則第170条10項に順ずる。リレー競技の編成は、必ずリレーにエントリーしている者が2名含まれていなければならない。決勝も同様である。
- (12) リレーオーダー用紙提出後の選手変更は原則認めない。それ以後に変更を行う場合は、医務室の救護員の判断がない限りは認められない。この規則に従わなければ、チームは失格となる。
- (13) リレーオーダー用紙・重複出場届・当日棄権届は受付及び競技者係にて配布する。

4. 棄権について

- (1) 事前に棄権者が判明している場合は、5月12日（火）18時までに事前棄権者届を関西学連事務局まで提出すること（FAX可）。事前棄権は代表者会議にて承認する。それ以後の棄権は原則として認めない。また提出後は必ず電話確認を行うこと。
- (2) 当日棄権は原則として認めない。ただしやむを得ない場合に限り、当該種目の競技当日に棄権者届を大会本部の総務に提出して承認を得ることで棄権が認められる場合がある。
- (3) 当日棄権者届には、監督および競技者本人のサインを記入すること。その後総務より棄権者届の下半分を受け取り、当該競技の第1次招集完了時刻までに競技者係に提出すること。
- (4) リレー競技の当日棄権についても上記の手続きを満たし、第1次招集開始時刻の60分前（リレーオーダー用紙提出締切時刻）までに提出すること。
- (5) 混成競技において途中棄権する場合は、必ず現地の審判員もしくは競技者係に申告すること。
- (6) 当日棄権者届未提出者及びコール漏れ（現地召集を含む）については、所属大学の総合得点より1点の減点を行う。また、リレー種目についても（オーダー用紙未提出含む）同様に1チームにつき所属大学の総合得点より1点の減点を行う。

5. 競技者の服装について

- (1) 同一大学は、事前に学連に提出した同一のユニフォームを着用すること（提出したユニフォームと異なれば出場を認めない）。これはリレー競技に限らず、全ての種目について適合する。セパレートユニフォームを使用する場合も、色・デザインを統一させること。
ただし、2015年4月1日からの規定変更に伴い、ユニフォームの変更を行っている大学は変更前と変更後の複数のデザインのユニフォームを使用することができる。
- (2) ナンバーカードは必ず本大会用のナンバーカードを使用し、ユニフォームの胸部および背部に折り曲げたりせずに明瞭につけること。但し、跳躍種目においては胸部または背部だけでよい。
- (3) 5000m・10000m・10000mWに関しては、第1次招集時に受け取った腰ナンバーカードと番号を合わせた長距離専用別ナンバーカードを使用すること。
- (4) トラック競技の腰ナンバーカードは右腰に明瞭に付けること。腰ナンバーカードは第1次招集時に競技者係にて配布する。1500m以上の種目は両腰に付けること。腰ナンバーカードは競技終了後ゴール地点で返却すること。途中棄権などで競技を中止した場合も返却すること。
- (5) 混成競技の最終種目の腰ナンバーカードは、第2次招集時に現地にて受け取ること。
- (6) 競技場保護のため、使用するスパイクのピンの長さはトラック・フィールド共に9mm以下とする。但し、走高跳およびやり投については12mm以下とする。

6. 競技用器具について

- (1) 使用器具は原則として競技場備え付けのものを使用すること。ただし個人所有の投擲物使用を希望する場合は検査を受け、使用許可を受けなければならない。
- (2) 棒高跳用ポールは各自で持ち込んだものを使用すること。
- (3) 個人所有の投擲物を使用する場合、競技開始時刻の90分前から60分前までに検査を受けること。検定はヤンマースタジアム長居内の器具庫で行う。ただし検定時間が開門時間以前となる場合には、正面玄関付近にて検定を行う。

7. 競技運営について

- (1) トラック競技の準決勝・決勝の組み合わせ、コース順は主催者側が公正に抽選し決定する。
- (2) トラック競技におけるプラスアルファの決定は0.01秒単位とする。尚、レーンが不足する場合は写真を拡大して0.001秒単位を見る。それでも同タイムかつ同着の場合、抽選を行う。
- (3) 短距離競技のゴール後は、競技者の安全のために自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走ること。
- (4) 5000m以上の競技において気象状況により給水を行う事がある。
- (5) ヤンマースタジアム長居の1F、トラック、フィールド内には競技者以外は入らないこと。
- (6) グラウンド内での競技者の付添やビデオ撮影などは一切禁止する。
- (7) 競技者は競技終了後速やかにグラウンドから退場すること。その際大会本部前の通行は禁止する。
- (8) スタンド以外での応援は一切禁止する。ラップタイムを取る場合もスタンドを使用して行うこと。
- (9) 競技中の選手に対する助言は競技規則第144条2項に順ずる。またフィールド競技に関しては現場の審判員が許可を与えた上でコーチ席にアドバイスを聞きに行くことができる。しかし審判

員の指示に従わない場合は選手・コーチに警告を与え、さらに続いた場合は審判長・総務・ヘッドコーチ等で協議し対処する。

8. トラック競技について

- (1) 計時について、トラック競技の計時は写真判定（0.01 秒）とする。但し、装置に故障等のトラブルが生じた場合、手動計時（0.1 秒）とする。
- (2) 5000m・10000m・10000mWに関しては、制限時間を設ける。各レーススタート後、次に記載している時間の経過時点で残り1周に達しなかった競技者は、その週のフィニッシュラインで競技を中止させる。

	5000m	10000m	10000mW
男子1部	17分	34分	59分
男子2部	18分	36分	59分
女子の部	20分	40分	64分

9. 不正スタートについて

- (1) 不正スタートと判定された競技者は失格となる。
- (2) スタートの号砲は英語で行う。
- (3) 不正スタートの判定は目視にて行う。
- (4) 不正スタートの判定の参考材料として、ビデオ撮影を行う場合がある。

10. フィールド競技について

- (1) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は下記の通りとする。

種目	種別	ピット	練習	試技開始	
走高跳	1部	Aピット	1m95cm 1m85cm	1m90cm	2m05cm まで 5cm 刻み、以降 3cm 刻み
	2部	Aピット	1m90cm 1m80cm	1m85cm	2m05cm まで 5cm 刻み、以降 3cm 刻み
	女子	Aピット	1m60cm 1m50cm	1m55cm	1m75cm まで 5cm 刻み、以降 3cm 刻み
		Bピット	1m50cm 1m40cm	1m45cm	
	十種競技	Aピット	1m80cm 1m70cm	1m70cm	1m85cm まで 5cm 刻み、以降 3cm 刻み
		Bピット	1m70cm 1m55cm	1m55cm	
	七種競技	Aピット	1m60cm 1m40cm	1m40cm	1m55cm まで 5cm 刻み、以降 3cm 刻み
		Bピット	1m40cm 1m30cm	1m30cm	

棒高跳	1部	Aピット	5m00cm 4m60cm	4m60cm	5m00cm まで 20cm 刻み、以降 10cm 刻み
		Bピット	4m40cm 4m00cm	4m00cm	
	2部	Aピット	4m20cm 3m40cm	3m40cm	4m40cm まで 20cm 刻み、以降 10cm 刻み
	女子	Aピット	3m40cm 2m40cm	2m40cm	3m40cm まで 20cm 刻み、以降 10cm 刻み
	十種競技	Aピット	4m00cm 3m60cm	3m60cm	4m20cm まで 20cm 刻み、以降 10cm 刻み
		Bピット	3m40cm 2m60cm	2m60cm	

- (2) 悪天候などの不測の事態が発生した場合は、総務・審判長・ヘッドコーチ・関西学連幹事長の協議により設定の高さを変更し競技を行う場合がある。
- (3) 1位決定のバーの上げ下げは走高跳2cm、棒高跳5cmとする。
- (4) 競技者が1人となった場合のバーの上げ方は、本人の希望により決める。但し、2つのピットに分かれている場合は、両ピットを通じて1人になった場合に限る。
- (5) 三段跳の踏切板の位置は、男子は13m女子は10mとする。
- (6) 棒高跳の公式練習を行う際はゴムバーを使用する。
- (7) 投擲種目の公式練習は、原則的に2回までとする。ただしハンマーは1投とする。
- (8) 各フィールド種目について、それぞれ試技に制限時間を設ける。その際審判員がストップウォッチにて時間を計測する。

11. 混成競技について

- (1) 第1次招集時刻は両日共第1種目のみ「3. 招集について- (6)」に従うこと。それ以後の招集時刻は、別紙「十種競技申し合わせ事項」または「七種競技申し合わせ事項」に記載された招集時刻に従うこと。競技時間の遅れ等は、アナウンスで連絡する。
- (2) 十種競技の棒高跳においてポールを大学より持ち込む場合には、他大学の競技者が器具を使用することに同意した上で持ち込むこと。

12. 開閉会式・表彰について

- (1) 開閉会式について
全参加大学は、開式15分前にクラブ指定のジャージを着用し、部旗を持った旗手を先頭に整列すること。人数は各大学任意とする。但し閉会式については各種目において優勝した者は必ず出席すること。尚、雨天時は屋内にて行う。その際は各大学の参加者は3名程度とし部旗を持って出席すること。
- (2) 表彰について
各種目3位までに入賞した競技者は表彰を行う。競技終了後、表彰係の指示に従い中央エントランスに集合すること。また表彰を受ける際はクラブ指定のジャージを着用すること。
- (3) 各種目の対校得点及びボーナス得点は下記の通りとする。尚、ボーナス得点は各ラウンドを通じて1回限り与えるものとする。

[対校得点]

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
対校得点	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点

[ボーナス得点]

日本新記録	30点	日本タイ記録	25点	日本学生新記録	20点
-------	-----	--------	-----	---------	-----

日本学生タイ記録	15点	関西学生新記録	10点	関西学生タイ記録	7点
大会新記録	5点	大会タイ記録	2点		

- (4) 総合得点が同点の場合は、優勝種目数の多い大学を上位とする。優勝種目数が同じ場合は2位種目・3～6位種目数を各々比較し、多い大学を上位とする。以上の点で同じ場合は同順位とする。

13. ドーピング検査について

- (1) 出場競技者にドーピング検査を実施する。
- (2) 選手は、ドーピングコントロールオフィサーおよびドーピング通告員の指示に従い、ドーピング検査を受けなければならない。
- (3) **ドーピング検査対象者が未成年の場合には必ず成人した者が付き添うこと。**

14. 抗議の申し立てについて

- (1) 競技進行中に起きた行為、または順位に関する抗議は、結果が正式に発表（アナウンス）されてから、決勝の場合は30分以内、次のラウンドが行われる競技の場合は15分以内に、その競技者あるいはチームの監督が口頭で審判長に申し出なくてはならない。
- (2) 審判長の裁定に不服な場合は文章と預託金10,000円を添えて上訴審判員に上告する。この抗議は上訴審判員が即決し、その結果は最終的なものとなる。

15. 競技場使用の注意

- (1) 全日、開門時間はヤンマースタジアム長居（1階正面玄関・2階南ゲート）午前8時30分、ヤンマーフィールド長居（マラソンゲート）午前8時30分を予定時間とする。時間は当日変更する可能性がある。**2階南ゲートは8時30分から抽選順に5秒間隔で入場とする。なお、1大学につき2名までの入場を認める。違反した大学は厳重に処罰するので注意すること。**
- (2) 横断幕・のぼりはテープ類を使用せず紐等で固定すること。全日競技終了後速やかに撤去すること。
- (3) 競技場周辺の場所取りは一切禁止とする。また、屋内（招集場所）・更衣室内に荷物やシート類を置いての場所取りも禁止とする。
- (4) 入場順は5月13日（水）の代表者会議にて抽選を行うので、希望大学は参加すること。
- (5) ポール・やりの事前郵送は認めない。ポール・やりの輸送に関しては、各団体の責任で行うこととする。尚、郵送をする場合は下記の宛先、期日・時刻に設定すること。**下記以外の期日・時刻に郵送することは禁止とする。また、受け取りの際には各大学代表者1名が立ち会うようにすること。**

【宛先】〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-1 ヤンマースタジアム長居

「第92回関西学生陸上競技対校選手権大会」

【期日】①平成27年5月15日（金）10時00分着

②平成27年5月17日（日）8時30分着

※保管場所は4日間通じて**競技場正面玄関ホール受付前**とする。ただし、保管中に破損等があったとしても、主催者は一切責任を取らないものとする。

ポール・やりの返送に関しても各大学の責任で行うこととする。ポール・やりを保管場所に置いている大学は**5/17(日)16:30までに受け取りにくること**。尚、**郵送をする場合は業者の来る期日・時刻を事前に関西学連事務所まで連絡すること。**

- (6) 全日程において、競技終了後（閉会式後）30分後に閉門するので、速やかに退場すること。
- (7) ごみは各自で持ち帰ること。
- (8) 大会期間中、大会運営に支障のする応援が行われている場合には、応援を制限することがある。その際には現地の指示に速やかに対応すること。
- (9) **メインスタンドでの集団応援は終日禁止とする。**

16. その他

- (1) 参加校は学生審判及び学生補助員派遣申し合わせに基づき、定められた数の学生審判員及び学生補助員を必ず派遣しなければならない。その際学生審判の服装は正装とし、公認審判員章及びバッジを着用して審判にあたること。受付にて配布する名札と腕章も着用すること。学生補助員はクラブ指定のジャージの着用を認める。派遣しなかった大学は以後の大会に出場を認めない。
- (2) 競技場内へ立ち入る際、競技場保護のためヒール等の靴は一切禁止し、アップシューズもしくはスニーカーで入場すること。これは選手に限らず学生審判・補助員も同様である。
- (3) 競技者はトラック及びフィールド内にビデオ、カセットレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を持ち込めない。
- (4) 競技中に発生した障害、疾病についての応急処置は主催者側で行うがそれ以降の責任は負わない。ただし、2015年(公社)日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。
- (5) 荷物の管理は各自で行うこと。紛失、盗難に関して主催者側は一切の責任を負わない。
- (6) 注意事項及び学生競技者としてのマナーを逸脱した行為などが見受けられた場合、その学生の所属する大学の以後の競技を中止させ処罰を与える。
- (7) 競技場の器具を破損した場合は、当該競技者の所属する大学より必要代金を徴収する場合がある。
- (8) 大会期間中疑問な点があれば、大会本部まで申し出ること。

関西学生陸上競技連盟